

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 34人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一敷地内に放課後等デイサービスがあり、外出時の応援や行事等の職員間の連携が取れている。	両事業の行事等、活動内容を共有しあえる、応援しあえる職員の環境づくりに努めている。	
2	専門職が多く配置されていることで、個別課題や作業課題が独自のものであったり、一人一人に合わせた課題が設定されている。	専門職員の知識を活用できるよう、職員会議や日頃の話し合いの中で活動や課題について検討する時間を多く取り入れている	今年度の職員会議内で、複数個の小集団活動の検討をし実施してきた。今後は専門職が窓口になり、作業活動や個別課題、作業課題の内容の充足を図っていく。
3	学校行事等のイレギュラーな時間の送迎や長期休みで少しでも長い時間の利用ができる。	・利用を希望する人の多い日や、外出時等、職員を多く配置することで、より安全に対応できるように心掛けている	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	臨時職員への情報周知不足。	臨時職員は勤務日数・勤務時間もそれぞれ異なる。全体で周知する内容は周知できている(私所を活用し、回覧している)。お子さん一人一人の支援内容等細かな部分の情報を伝えきれていない。	個人情報管理を徹底しながら、支援に必要な部分の情報を共有していきたい。
2	フィードバックの内容。	職員による話す内容の差。説明が長くなってしまったり、行動の背景に考えられる事柄や対応方法等まで、伝えられる職員とそうでない職員がいる。	・フィードバックには動画や写真を使用し、説明時間の簡略化、保護者とのイメージ共有の強化を図る。 ・児の行動の背景や対応策等は終礼時に毎回事例検討を行い、行動から予想される背景、対応策を話し合う事により、その内容がフィードバック時に活用されるようにしていく。
3	駐車場の不便さ。	設備環境に不備がある事。	法人内で対策を検討し、ミラー等の購入などを環境の改善を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスむつみ

公表日 2025年 3月 日

利用児童数 2025年3月1日現在 40人

回収数 34人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4		1	・人数に対して時々狭く感じる ・スペースはあるが、中央の柱がごわい ・活動スペースが分けられるところが良い ・園庭もありのびのび過ごせている	活動によって部屋を分けて対応させていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		3	・職員が多く安心して利用できる ・人数は適正。対応は間に合っていないように感じる	送迎時間が重複してしまうと、対応が間に合わない事があり、ご迷惑をおかけしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2		3	・本人に合った対応をしてくれている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32			2	・学校休日に色々な活動が設定されており、とても良いなと思います。 ・平日のプログラムは予定表に書かれていないが固定化していないと思っている。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	6	1	14	・利用日が少なく機会がない。 ・休日の外出がそういう機会になっていると思う。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	7	2	13	・日頃お話しする中で情報はもらっていると感じる。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	2		1	・子供の心の状態を伝えると、理解してくださり頑張る点を考えてくださる。 ・できてはいるが、もう少し写真や動画をうけて欲しい。	来年度にはiPadをもう1つ購入し、写真や動画をういたフィードバックを心がけていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2		2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31			3		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	10	3	16	・クリスマス会や夏まつりなどがそれにあたると思う。 ・福祉の村で開催される行事は交流できる場として良いと思う。 ・ないように感じるが、別になくてよい。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		1	・相談に対して分かりやすく説明してくれて良いと思う。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	3	1		・通信やブログで子どもの様子がよく伝わっている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	1	12		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	1	21		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	1	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27		1	5	・以前どりにいた際は説明があった。	もし、怪我等があった際には随時説明させていただきます。ご自宅にて怪我等を見つけた際にも連絡をいただくと幸いです。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32			1	・子供の安心度はとてもアップしてきている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1		3	・外で遊べることもあり、とても楽しみにしている。 ・時々行くことをしふるが、理由が分からない、行くと楽しんでいる。	子どもたちがのびのびと安心して過ごせる事業所を目指し、日々邁進していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	1			・将来を見据えた支援をして頂いておりがたく思っています。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスむつみ				公表日	2025年 3月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	巣レースが十分に確保できない時には、園庭を活用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	5	児童発達支援施設の職員と協力しながら遠泳をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	車いすの方にも対応しているが、ドアノブが高い位置にあり、届かない方には椅子を用意している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日々の清掃をし、心地よい環境に努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個々のお子さんの姿に合わせた場所の提供を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	月一度の職員会議や秀麗時に話し合い、必要に応じて業務の改善を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	/	/	新設の為、今後保護者の意向を業務に少しでも活かしていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々、職員間のコミュニケーションや職員会議の場を設け意見を言える環境に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		新設の為、今後外部評価の検討をする
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内の研修（オンライン研修）が計画、実施されている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	2025年2月公表済み	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	専門職の意見や評価表を取り入れている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		朝礼時のミーティングを活用し共有を図っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	職員会議や終礼時など話し合いを行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		同じ方向性を持って支援できるよう事前の打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		終礼時に参加することが難しい臨時職員に対して振り返りをどうするか、今後の課題である
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	4		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	様々な活動を提供し、自己決定の画面を意識して設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	4	児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5	法人内では連携をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	送迎時に必要事項の確認を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	法人内の児童発達支援事業所については、訪問をし情報の共有を図っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	必要に応じて対応している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		1事業所としては参加していないが、必要に応じて今後情報の共有を図っていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	日々のフィードバックや記録、モニタリング、必要に応じて電話をかけ共通理解できるように心がけている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	保護者とフィードバック時やモニタリングの際に困り感に対する話し合いをしている。また研修等のチラシは掲示しお知らせをしている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に丁寧に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	必要に応じて実施している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	説明は丁寧にわかりやすく行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	必要に応じて実施している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				父母の会自体が存在しない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7		必要に応じて実施している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2		お便りやHPを更新することで保護者に発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2		言葉が伝わりにくい時にジェスチャーや写真などを用いて伝えている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		内覧会時に地域住民にご案内は実施
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		申込み時に健康状態の確認を実施している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		児発の神尾氏が聞き取りや指示書を確認するなど現場職員と情報共有を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			書面に記載し回覧するなど状況を確認を共有し再発防止に努めている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	3		オンライン研修の他、勉強会や虐待防止チェックシートを活用し虐待防止への意識を高めている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2			